

エル・システマ・フェスティバル 2017

エル・システマ出身のベルリン・フィルハーモニー管弦楽団コントラバス奏者
エディクソン・ルイスを迎えて贈るマスタークラス、室内楽、ガラ・コンサート



ララ・ソモス



エディクソン・ルイス



井上道義



古橋富士雄



コロンエリカ



伊藤恵



堤剛



田原綾子



辻彩奈

エディクソン・ルイス 室内楽マスタークラス 10/20 金 18:00開講 (21:00終了予定) 東京芸術劇場 シンフォニースペース(5階)
※詳細は決まり次第劇場 HP(<http://www.geigeki.jp/>) で発表いたします。

エディクソン・ルイスと仲間たち 室内楽コンサート

10/21 土 13:00ロビー開場
14:00開演

東京芸術劇場 コンサートホール

全席指定 S ¥3,000 A ¥2,000 B ¥1,000

ヴァイオリン：辻彩奈 ヴィオラ：田原綾子
チェロ：堤剛 コントラバス：エディクソン・ルイス ピアノ：伊藤恵

ポツェジーニ/ヴァイオリンとコントラバスのためのグラン・デュオ・コンチェルタンテ
チェロとコントラバスのためのデュオ・コンチェルタンテ
シューベルト/ピアノ五重奏曲 イ長調 Op.114, D.667 「まず」

エル・システマ ガラコンサート El Sistema Festival 2017

10/22 日 13:00ロビー開場
14:00開演 (17:00終演予定)

東京芸術劇場 コンサートホール

全席指定 ¥1,000

指揮：井上道義 合唱指揮：古橋富士雄
ソプラノ：コロンエリカ コントラバス：エディクソン・ルイス
児童合唱：相馬子どもコーラス
東京ホワイトハンドコーラス (指導：井崎哲也、コロンエリカ)
ララ・ソモス (ヴォーカル・アンサンブル) 管弦楽：フェローオーケストラ

1部 指揮：古橋富士雄 児童合唱：相馬子どもコーラス

- お菓子の歌わた菓子、チューイングム、ソフトクリーム、たいやき、おせんべ、ポップコーン (作詞：蓬萊泰三、作曲：南安雄)
- 相馬盆唄 (編曲：伊藤康英)、会津磐梯山 (編曲：松下 耕)
- 被爆のマリアに捧げる賛歌 (作曲：エリック・コロム) ソプラノ：コロンエリカ
- 東京ホワイトハンドコーラスと共に
Night Road, When I Sing a Song ほか
(原詩：まど・みちお、作曲：上田真樹)

2部 ララ・ソモス (ヴォーカル・アンサンブル)

3部 指揮：井上道義 管弦楽：フェローオーケストラ

- ケーセヴィツキー/コントラバス協奏曲ト短調 コントラバス：エディクソン・ルイス
- 阪田寛夫 (作詞)、山本直純 (作曲)/児童合唱と管弦楽のための組曲「遠足」
光る、歩く時の歌、おべんとう、城跡、山の上の合唱、家路
児童合唱：相馬子どもコーラス 振り付け：ラッキィ池田、彩木映利

お問合せ & チケット取扱

7/21 (金) 一般発売

東京芸術劇場ボックスオフィス

※未就学児入場不可。
※都合により出演者・曲目等が変更になる場合がございます。

0570-010-296 (休館日を除く 10:00~19:00)
<http://www.geigeki.jp/>

主催：駐日ベネズエラ・ポリバル共和国大使館、東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、一般社団法人エル・システマジャパン、豊島区
協賛：アサヒグループホールディングス株式会社、キッコーマン株式会社、株式会社シグマックス、ダウ・ケミカル日本株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社 Plan・Do・See (五十音順)
協力：KAJIMOTO 助成：平成 29 年度 文化庁 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業 (としま国際アートフェスティバル事業)

エル・システマとは

1975年、南米ベネズエラでホセ・アントニオ・アブレウ博士によって設立された組織で、子どもたちがオーケストラやコーラスに参加することで、音楽を学び、集団としての協調性、社会性を育み、コミュニティとの関わりをつくることを目的としています。エル・システマは、世界的に活躍する若手指揮者グスターボ・ドゥダメル氏など多くの一流音楽家を輩出しているだけでなく、子どもたちを犯罪や暴力から守り、学業面も含めてポジティブな影響を与えてきたことで、ユネスコや米州開銀等の外部機関からも評価されています。日本では、東日本大震災で被災した子どもたちが音楽での経験を通して、自信や尊厳を回復し自分の人生を切り開いていく力を育むことを当初の目的に、2012年よりエル・システマジャパンとして、福島県相馬市、岩手県大槌町、そして、2017年より長野県駒ヶ根市と東京都でも活動を開始しました。家庭の事情や障害の有無にかかわらず、どんな子どもも音楽に触れられること、皆で奏でるオーケストラやコーラスの形で学んでいくことを大切に、自己表現の場として、そして音楽が人と人をつなぐことを目指しています。

El Sistema Festival 2017

- エディクソン・ルイス 室内楽マスタークラス
2017 10/20[金]18:00 東京芸術劇場 シンフォニースペース(5階)
- エディクソン・ルイスと仲間たち〜室内楽コンサート
2017 10/21[土]14:00 東京芸術劇場 コンサートホール
- エル・システマ ガラコンサート
2017 10/22[日]14:00 東京芸術劇場 コンサートホール

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

(休館日を除く10:00-19:00)

<http://www.geigeki.jp/>

カジモト・イープラス

0570-06-9960

<http://kajimotoeplus.com/>

チケットぴあ

0570-02-9999

Pコード: 10/21(土) 336-547

<http://pia.jp/t/geigeki/>

10/22(日) 336-647

イープラス <http://eplus.jp/>

ローソンチケット

0570-000-407 (オペレーター対応10:00-20:00)

0570-084-003 音声自動応答 Lコード: 33613 (両日とも)

<http://l-tike.com/>

東京芸術劇場 託児施設のご案内 / 事前予約制・有料

当劇場で鑑賞の際には、一時託児をご利用いただけます。

利用料金(1公演あたり): 0歳~1歳 2,560円(税込)
2歳~6歳児(就学前) 2,160円(税込)

※開演30分前から終演30分後まで

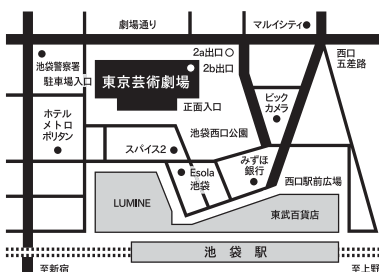
わらべうたBS課 電話: 0120(415)306 (平日9:00~17:00)

※ご予約の際「東京芸術劇場の託児予約の件で」とお問い合わせください。
※予約締切日は、土・日・祝祭日を除く公演日一週間前。

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-8-1
TEL: 03-5391-2111

<アクセス> JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通道の2b出口で直結しています。



エディクソン・ルイス | コントラバス |

Edicson Ruiz, Contrabass

1985年カラカス生まれ。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団メンバー。11歳でコントラバスを始め、ホセ・アントニオ・アブレウ博士によって創設されたベネズエラの音楽教育システム「エル・システマ」のオーケストラに所属。フェリックス・プテに学んだ。15歳で、米インディアナポリスで開催されたソロコンクールに優勝。2001年にベルリン・フィル・オーケストラ・アカデミーの最年少スカラーシップ生となり、クラス・シュトールに師事。17歳でベルリン・フィルのオーディションに合格した。いまや、世界で最も成功しているコントラバス・ソリストの1人であり、これまでにザルツブルク音楽祭、ルツェルン音楽祭、ニューヨーク、ベルリン、東京、マドリッド、チューリヒ、ヨハネスブルク等で、オーケストラと共演している。彼のために作曲され、初演を任された作品も多く、ハインツ・ホリガー、ポール・デセン、エフレイン・オッシュャー、アルトゥーロ・パンタレオン、マティアス・オッカー、ルイス・アントゥネス・ベナ、藤倉大、ローランド・モーザー等の作曲者が挙げられる。ドイツのPhil.Harmonieから多数CDもリリースしており、特に彼の18世紀音楽への情熱を感じられる録音が多い。

オフィシャルサイト <http://www.edicsonruiz.com/>



相馬子どもコーラス

Soma Children's Chorus

民謡をはじめとする音楽や伝統芸能が息づく、福島県相馬市。エル・システマジャパンとの協力協定が2012年に締結され、市内小学校への支援がスタート。「相馬子どもオーケストラ」の母体となる週末弦楽器教室が2013年に立ち上がり、市内の全小中学生に門戸が開かれました。またコーラスも、市立桜丘小学校合唱部をベースに中学生の合唱部OB・OGが加わった形での活動がはじまり、現在では、古橋富士雄音楽監督と小島弥生指導担当のもと、市内は小3から高2の51人が参加し、地域の行事、イベントで活躍しています。



東京ホワイトハンドコーラス

Tokyo White Hands Chorus

ベネズエラでは、聴覚障害や自閉症、発声に困難を抱える子どもの参加を重視した、様々な子どもたちがともに活動する合唱隊が22年前に誕生しました。歌とともに白い手袋をしたパフォーマンス(手歌)を行うことから、広義にホワイトハンドコーラスと呼ばれています。日本でも、徐々に聴覚以外の困難さに向き合う子どもたちや、共同合唱に心寄せる人たちが誰でも参加できる仕組みを作ることを目標として、2017年6月に結成。月2回の練習を経て、今回が初めての発表の場となります。

ララ・ソモス | ヴォーカル・アンサンブル |

Lara Somos, Vocal Ensemble

ベネズエラのホワイトハンドコーラスの代表メンバーからなる、ララ州を拠点に活動するヴォーカル・アンサンブル。2013年のザルツブルク音楽祭を始め、そのパフォーマンスは国内外で大きな賞賛を得ており、ブラジド・ドミンゴからも絶賛されています。中心メンバーは、視覚障害や運動障害を持っていますが、その歌声と各種民族楽器の演奏は圧倒的です。



フェローオーケストラ | 管弦楽 |

Fellow Orchestra

エル・システマジャパンの活動で指導ボランティアとして貢献するアマチュア音楽家を中心に、エル・システマの理念に共感する音楽家が集まって作られたオーケストラです。2016年の設立以来、大学生を中心に、10代から60代まで年代も背景も多様な仲間が集まりました。「フェロー」という名称には、探究する仲間、という意味が込められており、エル・システマで学ぶ子供たちをはじめ一人でも多くの方に、音楽を通じて活力を届けられるよう、演奏技術や楽曲の解釈、オーケストラの運営方法などを団員みんなで探究しています。2017年3月11日には東京で初のチャリティーコンサートを、そして翌日3月12日には相馬市にて相馬子どもオーケストラとの合同コンサートを開催、4月29日には東京で行われた「エル・システマ」ジャパンオーケストラフェスティバルに出演しました。今回は室内楽コンサートに出演する、辻彩奈、田原綾子、堤剛もフェローオーケストラのメンバーとして出演いたします。

オフィシャルサイト <http://felloworchestra.org/>